

赤字デイからの逆転モデル公開!共生型で業績V字回復セミナー

講座	内容
第1講座	共生型デイサービスの時流とビジネスモデル <ul style="list-style-type: none"> ● デイサービス赤字の典型パターン ● 利用者20名以上でも儲からない理由 ● 介護保険事業の限界 ● 障害福祉事業が注目される背景 ● 共生型サービスの将来性 株式会社船井総合研究所 介護グループ マネージャー 久積 史弥
特別ゲスト講座 第2講座	共生型生活介護でV字回復を実現したデイサービスの成功ストーリー <ul style="list-style-type: none"> ● 共生型を始めた経緯と実際の取り組みについて ● 赤字からの転換ポイント ● 介護×障害で変わった収益構造 ● 既存スタッフ活用の工夫 ● 導入前の不安と現実 株式会社デイサービスセンターうらか 代表取締役 住所 和彦氏
第3講座	成功する「共生型デイサービス」の始め方と業績回復のポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 後悔しない共生型の始め方のポイント ● 一般的な高齢者デイと共生型デイの決定的な違い ● 失敗しないための共生型ターゲット設定 ● 介護×障がい保険算定の方法と利用者獲得手法 ● 共生型デイを軸とした今後の事業拡大の描き方 株式会社船井総合研究所 介護グループ 前田 龍人
第4講座	まとめ講座 本日の講座のまとめとみなさまに明日から実践していただきたいことをお伝えいたします。 株式会社船井総合研究所 介護グループ マネージャー 久積 史弥

大阪会場 2026年 **3月26日 土** 10:00~12:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)

船井総研グループ大阪本社 サステナグローススクエア OSAKA
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目2番123号イノゲート大阪21階
 ※2026年1月1日よりイノゲート大阪(梅田)に移転し開催いたします。ご来場の際はご注意ください。

東京会場 2026年 **4月21日 火** 14:00~16:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)

船井総研グループ東京本社 サステナグローススクエア TOKYO
 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

お申込み期日 銀行振込み: 開催日6日前まで クレジットカード: 開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合がございます。

受講料 一般価格 税抜30,000円(税込33,000円)/一名様 会員価格 税抜24,000円(税込26,400円)/一名様
※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
 右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/138922>
 船井総研ホームページ(https://www.funaisoken.co.jp)の右上検索マークから「138922」をご入力し検索ください。



【お問い合わせ】船井総研セミナー事務局 E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000(平日9:30~17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索してご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

安定しない稼働率、毎月の営業に追われていませんか?

費用ゼロ&採用ゼロで始められる 赤字デイサービスに 共生型付加で 業績V字回復セミナー 定員数**35名**のデイサービスが 稼働率**95%**を維持

営業が苦手でも稼働が読める経営
“共生型付加”で安定稼働の仕組みを大公開

デイサービスに**“共生型”付加**で稼働が上がる**3つの理由**

- 競合が少ない** 受け入れ先不足の地域が多く、相談が集まりやすい!
- 差別化** 「高齢×障がい事業」がそのまま競合との差別化に!
- 営業数の削減** 継続年数・利用回数が増え、稼働が読みやすい経営に!



株式会社デイサービスセンターうらか
 代表取締役 住所 和彦氏

赤字デイからの逆転モデル公開!共生型で業績V字回復セミナー お問い合わせNo.S138922



株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索マークから「お問い合わせNo.」を入力ください。 138922



会社名：株式会社デイサービスセンターうららか
所在地：兵庫県加古川市
事業内容：デイサービス(30名規模1事業所、地域密着2事業所)、
就労継続支援B型、訪問看護
従業員数：約100名

30歳で起業し、約15年にわたり兵庫県加古川市を拠点に総合福祉事業を展開。デイサービス、就労継続支援B型、訪問看護など多岐にわたるサービスを提供し、地域福祉に貢献。また、著書「選ばれる介護施設の極意」も出版。
「普通にやっているだけでは慢性的な人手不足の解消は無理だ」と思い、自社の就労B利用者の作業活動を通して介護の人手不足を解消。加えて就労利用者の雇用も生み出す一挙両得の業態を開発。



株式会社デイサービスセンターうららか
代表取締役 住所 和彦 氏

共生型の原点 8050問題に直面して決めたこと



すべての始まりは、ある高齢の女性ご利用者様との出会いでした。
その方は朝の短時間利用で入浴のために来所されるものの、昼食だけは頑なに口にしようとされません。
「選択は自由だから」
そう気丈に振る舞われる姿に、最初は“ご本人の意思”として受け止めていました。しかし、背景を丁寧に伺う中で返ってきた言葉は、私の想像を大きく超えるものでした。
「ここで自分にお金をかけたら、家に残している障がいのある息子の分がなくなるんです」
息子さんは精神障がいを抱えておられ、ご家族は「今日を生きるだけで精一杯」という状態でした。
お母様自身も、もし自分が倒れてしまったらどうなるのか——その先の将来像を描く余裕すら持てていませんでした。
いわゆる「8050問題(老老介護)」の現実を、真正面から突きつけられた瞬間でした。
創業時から掲げてきた理念——「年齢・性別・障がいの有無に関わらず、社会進出を応援する」
この原点に立ち返ったとき、私は一つの決意に至りました。
たとえリスクを伴っても、親子ごと、家族ごと支える仕組みをつくらなければならない。これこそが、私たちが共生型への参入を決めた“本当の理由”です。



理念の壁

現場の反発と直面した現実

しかし、理念だけで現場は動きません。
共生型の導入を発表した当初、スタッフからは不安や反発が一気に噴き出しました。

「高齢者のケアをするつもりで入社したのに」
「障がいのある方との関わり方がわからない」

戸惑いは、スタッフだけに留まりません。
既存の高齢利用者様からも、
「ここは障がい者の世話をする場所なのか」

そんな声が上がリ、現場の空気は次第に重くなっていきました。
さらに、私自身が「実力不足」を痛感する出来事もありました。
当時、重度の身体障がいがあり、呼吸器を使用し、吸引も必要な方の受け入れ要請があったのです。
けれど当時の私たちの看護体制では、必要なスキルも仕組みも追いついていませんでした。
「自信を持って安全を守れない」
そう判断し、お断りせざるを得なかったのです。
やる気はある。理念もある。
それでも、技術と仕組みが伴わなければ、人を支えることはできない。
理想と現実のギャップに、組織は瓦解寸前まで追い込まれていました。





転機は標準化 “毎日65点”の組織づくり

現場が混乱する最大の要因は、ケアが「属人化」していたことでした。
 「あのスタッフじゃないと対応できない」
 「あの人は上手いけど、新人には無理」
 ——そんなふうに、対応の可否や質が“個人のスキル”に紐づいている状態です。

しかし、多様な特性を持つ利用者様が同じ場にいらっしゃる共生型では、この構造のままでは絶対に回しません。
 誰か一人の力量に依存した瞬間、現場は簡単に崩れてしまうからです。

そこで私は、大きな発想の転換を行いました。
 それは、「属人的な100点満点のケアを目指すのではなく、
 誰がやっても当たり前の65点を毎日叩き出せる『標準力』を作る」ということ。
 特別な“スター社員”がいなくても、品質を維持できる。
 誰が入っても迷わず動ける。
 そんな「組織の型」をつくることこそが、スタッフを守り、共生型を成功させる唯一の解だと気づいたのです。



成果 売上の上積みと紹介の好循環

現在、デイサービスの定員を20名から35名へ引き上げましたが、
 ほぼ100%の稼働率を維持しています。
 共生型生活介護の利用が1日4~5名加わり、全体売上の約13~15%が、純粋な上積みとなっています。
 そして、数字以上に大きい成果があります。
 それが、行政(障がい福祉課)からの絶大な信頼です。
 「ゴミ屋敷でセルフネグレクトに陥っている」
 「行政職員を敵視してドアを開けない」
 ——そんな介入困難なケースでさえ、
 「うららかさんなら何とかしてくれるかも」と、特命の相談が寄せられるようになりました。
 まずはご本人・ご家族との関係づくりから入り、安心して通える環境を整えたうえでデイ利用へつなげる。
 この“無理のない導線”が確立されたことで、こちらから営業をかけなくても、行政や関係機関から自然と紹介が生まれ、利用につながる好循環ができています。
 また、弊社の特徴は訪問看護事業にも力を入れており、約30名の看護師が在籍しています。
 この訪問看護部門の看護師が、デイサービスの職員に対し、社内研修という形で講師を務めてくれたり、訪問看護として利用者へ関わることもあります。
 また、就労継続支援B型事業所も運営しており、就労Bの方々に業務委託という形でデイサービスの関節業務(食事の配膳、シーツ交換など)を手伝っていただいています。
 自身の経験から、「デイサービスは高齢者のサービス」と決めつけず、社会的ニーズが高い形態に柔軟に対応していくことも必要であると感じています。



共生型デイサービス 誌上特別講座

安定しない稼働率に悩むデイが増えている
地域によっては高齢者人口がすでに減少局面へ…
いま求められる「共生型デイ」モデルを紹介!

株式会社船井総合研究所 介護グループ マネージャー 久積 史弥



時流から読み解く「共生型付加」を強く推奨する理由

デイ単体では難しい「稼働率・売上」を “上積み”で強くする

高齢者枠の稼働は安定していても、入院・入所などで稼働率は揺れます。
共生型は、既存の運営基盤を活かしながら、障がい福祉の利用が加わることで、売上の“純増”をつくる選択肢になります。



「受け入れ先不足」を “選ばれる理由”に変える共生型の強み

多くの地域で、障がいのある方の受け入れ先が不足し、相談は増えています。
共生型は「高齢×障がい」が同じ場にあることで、地域課題の受け皿になれる。
その結果、関係機関から“選択肢の一つ”として想起される存在になっていきます。



制度と地域ニーズの追い風がある “今”がチャンス

受け皿不足の一方で、共生型生活介護に取り組む事業所は全国で約800事業所のみです。先に体制を整えた事業所が、“まず相談される窓口”になりやすい。だからこそ、いま動く価値があります。



レポートをお読みいただいたみなさまへの特別なご案内

セミナー開催

共生型デイサービス 活気があったあの頃のデイをもう一度!

大阪
&
東京
開催

2026年3月26日(木) 大阪

開催場所: 船井総研グループ大阪本社 サステナグローススクエア OSAKA
10:00~12:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)

2026年4月21日(火) 東京

船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO
14:00~16:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)



株式会社デイサービスセンターうららか
代表取締役 住所 和彦 氏



セミナーでお伝えすること (ほんの一部です)

相談が増える・紹介が回る。稼働が安定するデイサービスへ転換!

「共生型デイサービス」“介護×障がい”成長モデルの全貌

- ① なぜ今、「共生型デイサービス」なのか?稼働率が安定する「介護×障がい」新市場戦略
- ② 介護保険の限界を越える、地域から求められ利益も生まれる「共生型モデル」の全貌
- ③ 採用&投資ゼロ!最小リスクで始めて稼働率を安定させる共生型導入手法
- ④ 「稼働が安定する」が現実になる!失敗しないためのターゲット設定
- ⑤ 現場の反発を乗り越え、組織を一つにする教育研修方法
- ⑥ スケジュール・活動・送迎を崩さず回す「共生型オペレーション設計」
- ⑦ 現場負荷と収益を両立する“障がい×高齢”の最適バランス設計
- ⑧ 「あの人がいないと回らない」からの脱却!再現性を生む“脱属人化”マネジメント
- ⑨ 加算・記録・送迎・活動設計の落とし穴を回避する、指定申請~立ち上げ実務のポイント
- ⑩ 営業活動ゼロでも紹介が殺到!行政・地域を巻き込む信頼獲得の仕組みづくり

セミナーDMを受け取られた皆様へ もう1つのご案内

全国の福祉業界の成功事例や時流がわかる

福祉 メールマガジン 無料配信中

過去配信メルマガ人気タイトル

- 【就労事業所必見！】令和6年障がい者雇用状況のまとめ
- 離職率3.6%を達成！人が育つ&人が辞めない組織の作り方
- 運営指導(旧実地指導)が厳格化し、給付費の返還リスクが急増！
- 就労継続支援B型事業者必見！就労選択支援について
- 障がい福祉特化の生成AI事例！
- 障がい福祉事業のM&Aについてまとめたレポートのご案内

週4~5件の
メルマガ配信



メルマガ登録先はこちら



以下をダウンロードいただく過程でも
メルマガにご登録いただけます

10年生き残る
障がい福祉の経営戦略



障がい福祉業界特化の
人事評価制度・処遇改善対応



障がい福祉業界向け
生成AI活用最新事例



介護と福祉ではメルマガが異なるので

両方に興味のある方は2つともご登録ください